

EDGE

International

IRセミナー 2016

対話(エンゲージメント)で 実現する企業価値の向上とは

エッジ・インターナショナルはこのたび、Hermes EOS、ブルームバーグとの共催で、IRセミナーを開催する運びとなりましたので、以下の通りご案内申し上げます。

投資家と企業との建設的な対話(エンゲージメント)による企業価値向上への取り組みは、世界的なトレンドになっています。英国の大手年金基金であるBT年金基金の運用会社のグループで、エンゲージメントサービスの専門会社として世界的に定評のあるHermes EOSの共同社長Dr. Hans-Christoph Hirt氏、またHenley Business School ICMAセンター准教授(ファイナンス) Dr. Andreas Hoepner氏を迎え、グローバルな最新動向と「エンゲージメントが投資のリスク・リターンに与える影響」の実証研究結果についてご紹介します。また、国内でも、統合報告書の普及で加速する企業と投資家の建設的な対話の現状を、先進的な取り組みをする丸井グループの代表取締役社長 青井浩氏をお迎えして紹介します。

日 時	2016年9月12日(月) 13:45～17:35 (受付開始13:30)
会 場	ブルームバーグL.P. 東京都千代田区丸の内2-4-1丸ビル21階 アクセス ○ JR東京駅 丸の内南口より徒歩1分 丸の内地下中央口より地下道より直結 ○ 丸の内線 東京駅 地下道より直結 ○ 千代田線 二重橋前駅 5番出口より直結
対 象	金融機関及び事業会社のエンゲージメント担当者、広報・IR / 経営企画部門等の担当者
定 員	150名
参加費用	無料
共 催	Hermes EOS、ブルームバーグL.P.、エッジ・インターナショナル

お申込み

http://go.bloomberg.com/promo/invite/eos_edge

お問い合わせ

03-3403-7750 (株式会社エッジ・インターナショナル内 IRセミナー 2016事務局:岡田、江森)

受付開始 13:30	
開会のご挨拶 13:45-13:50	石橋 邦裕氏 ブルームバーグL.P.在日代表
基調講演1 13:50-14:40 日英同時通訳付き	実証研究:「エンゲージメントが投資のリスク・リターンに 与える影響」の調査研究結果について Dr. Andreas Hoepner氏 Henley Business School-ICMA Centre
基調講演2 14:40-15:45 日英同時通訳付き	Hermes EOSの取組とグローバルな スチュワードシップ活動の最新動向 Dr. Hans-Christoph Hirt氏 Hermes EOS共同代表
コーヒーブレイク 15:45-16:00	
16:00-16:15	Bloombergで見るESG 西田 淳子氏 ブルームバーグ L.P. ESG機能開発責任者
16:15-16:30	日本における統合報告の実情 江森 郁実 エッジ・インターナショナル 統合報告/ESG事業推進室
特別対談 16:30-17:30	丸井グループにおける統合報告とエンゲージメントへの取り組み 対談者 青井 浩氏 丸井グループ 代表取締役社長 荒井 勝氏 Hermes EOS 上級顧問
閉会のご挨拶 17:30-17:35	梶原 伸洋 エッジ・インターナショナル 代表取締役

Hermes EOS (ハーミーズ イオス)の概要

世界的に著名な英国で最大の機関投資家資産運用会社の一つであるハーミーズ インベストメント マネジメントは、1983年に設立され、多くの顧客から年金運用を受託しています(£26.0 billion of assets under management and £188.8 billion in assets under advice, valued as at 29 February 2016.)また、子会社

であるハーミーズ イオスにおいては、議決権行使やエンゲージメントサービスを積極的に提供し、日本においても、年金より委託を受けるなど、投資先企業に対するエンゲージメント(対話)を実施しています。現在では、世界全体で22の異なる場所で330以上のクライアントを持つ活動をしています。

出演者経歴

Dr. Hans-Christoph Hirt (ハンス・クリストフ ハート)氏

Hermes EOS (ハーミーズ イオス)共同代表

英国公認会計士協会会員、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)博士。ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジのティーチング・フェロー。2004年よりHermes EOS。2016年よりHermes EOS共同社長としてグローバルなエンゲージメント取組プログラムと提供するサービスのクオリティを高め、またドイツ、アジアの主要企業のエンゲージメントなど注目されるスチュワードシップにも取り組む。現在、国連PRIの投資家エンゲージメント・クリアリングハウス運営委員会メンバー、ICGN (International Corporate Governance Network)の株主責任委員会メンバー。

Dr. Andreas G. F. Hoepner (アンドレアス G. F. ホフナー)氏

Henley Business School ICMAセンター 准教授(ファイナンス)

金融データサイエンス協会初代会長、IPE (Investment & Pensions Europe)賞の独立評価委員会、投資イノベーション・ベンチマーク並びにRI賞の委員会メンバー。J. Safra Sarasin銀行、CDP、フランス社会的投資フォーラム(FIR)の審議会メンバー。2010年にSt Andrews大学博士。2009年から2013年まで同大学で教職に就き、責任ある銀行とファイナンス・センターを設立し2011年より副所長。社会的企業SocioVestix Labsを設立し共同ディレクター。年金基金の社会的報告賞を主催する慈善団体 ReFine Research初代表理事。2016年3月までの6年間、国連責任投資原則のリード・アカデミック・アドバイザー。

青井 浩氏

株式会社丸井グループ 代表取締役社長代表執行役員

1986年入社、2005年より現職。近年は、「共創価値経営」をモットーに、投資家をはじめとするステークホルダーとの対話促進に力を入れ、新たな成長ステージに向けたビジネスモデル変革を推進している。米国金融専門誌「Institutional Investor誌」による2016年の「日本のベストIR企業ランキング」においては、小売業Best CEOカテゴリーで、セルサイド部門1位、バイサイド部門3位にランクイン。祖父は丸井創業者の青井忠治。

荒井 勝氏

Hermes EOS 上級顧問、NPO法人 社会的責任投資フォーラム(JSIF)会長

国連責任投資原則(PRI)持続可能な金融システム諮問グループ・メンバー(元国連責任投資原則ボード・メンバー)、FTSE Russel ESG 諮問委員会メンバー・基準諮問委員会メンバー、CDP Japan諮問グループ・メンバー、企業価値リサーチ・インスティテュート代表理事等を務める。1972年大和証券入社、海外の中央銀行・政府系投資会社の日本への投資業務、日本企業並びに海外政府・企業の資金調達引受業務に従事。サウジアラビア駐在、大和ANZインターナショナル(オーストラリア)社長等を経て、1992年大和証券投資信託委託に入社。主に運用業務に従事し、取締役兼専務執行役員運用本部長等を務め2012年退任。責任投資に2003年より関わる。投資信託協会、環境省、経産省などの検討委員会を長年務める。